

各位

上場会社名 株式会社 ホープ
 代表者 代表取締役社長 政場 秀
 (コード番号 1382)
 問合せ先責任者 取締役経営管理部長 吉田 周史
 (TEL 0166-83-3555)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,220	△76	△72	△80	△105.25
今回修正予想(B)	3,722	△183	△177	△409	△537.48
増減額(B-A)	△497	△106	△104	△329	
増減率(%)	△11.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年6月期)	4,485	△68	△60	△110	△144.55

平成29年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,930	△104	△98	△34	△45.23
今回修正予想(B)	3,444	△208	△200	△367	△481.71
増減額(B-A)	△486	△103	△102	△332	
増減率(%)	△12.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年6月期)	2,996	△154	△110	△136	△178.55

修正の理由

(通期連結業績予想の修正理由)

主力であるいちご果実・青果事業において、前年同期に品薄により落ち込んだコンビニエンスストア向け等の販売数量については前年比では回復しましたが、その他販売先を含め、当初予想に比べると受注減となったことで、想定していた販売数量までは確保できず、予定していた売上高を確保することができませんでした。また、年明け以降、前年同期と比較して産地からの出荷が安定して推移したことから、利益面は前年よりは改善されたものの、取扱数量の伸び悩みにより、予定を下回ることとなりました。

さらに、馬鈴薯事業において、種馬鈴薯及び青果馬鈴薯の主要産地である北海道が昨年8月に台風、大雨等の被害を受けたため、生産量が大幅に減少いたしました。この影響は下半期も予想を上回る規模で継続し、想定していた種馬鈴薯及び青果馬鈴薯の仕入を行うことができなかったことから、売上高、利益ともに当初の予定を下回りました。特に、青果馬鈴薯においては、一部取引先において、品薄による仕入価格の上昇を販売価格に転嫁することができず、利益が大幅に減少いたしました。

また、当社グループ全体として、経営資源の集中と経営効率化を図ることを目的として、平成28年10月に100%子会社であった(株)ホープ21及び(株)ジャパンポテトを吸収合併すると共に平成29年3月に東京本部機能を移転・集約することで販売費及び一般管理費の圧縮を図りましたが、グループ全体として予定していた営業利益の確保には至りませんでした。

さらに、特別損失として固定資産の減損損失229百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を大幅に下回る結果となりました。

(通期個別業績予想の修正理由)

上記、通期連結業績予想数値の修正理由と同様であります。

以上